

昔と変わらぬ味

12月21日(日)

味わい

1樽(1kg)

4,980円  
(税込)

予告

12月24日(水)・25日(木)

サンタ  
三太巻き

大人気ネギトロ巻き  
エビフライ巻き  
宮崎牛肉巻き



1パック 1,580円

あー寒い。冬が嫌いな越道です。まだ、冬用タイヤにも変えてません。今週は暖冬?とニュースで言っているので、勝手に安心しています。天気予報で少しでも雪マークになると、早々びびつすぐりに変えるタイプです(笑)。早いですね、1年。あつとゆ一まに、年末です。本日の広告は、県北の年末の食卓には欠かせない、酢だこ、味だこ。小さい時から、ぱあちゃん家には必ずあった商品です。

さつぱりと食べたい方は、酢だこ。そのままでももちろん、きゅうりと一緒に混ぜて酢の物にしてもよし。オニオングラスと一緒に、イタリアドレッシングでおしゃれに洋風です。

味だこは醤油ベース、さつぱりが苦手な方はこちらがおすすめです。今年最後のお買得商品となつております。

そしてクリスマス。24・25日で三太巻(サンタ)を販売します。当店大人気ネギトロ巻、エビフライ巻、さらに宮崎牛肉巻です。ハーフサイズの3種セット。ご来店お待ちしております。

0824-72-5246  
**山西鮮魚店**  
ジョイフル

12月26日～1月5日までの間は  
御用聞きは中止させていただきます。

# 『素敵な70代』

鮮コープレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史

I 「えっ、なんで？」

広島みどり信用金庫で送金しようとした。

カードを挿入。送金先の信金の高野支店を指定、相手の窓口番号、私の電話番号など打ち込んで『送金』を押して完了、と思いつつ『ご利用明細票』なるものを見ると、金額欄は空白。「おかしいのう」とつぶやきながら通帳に記帳して確かめようと、通帳を開いて挿入。「ん? 記入できん」ということは、送金できない? もう一度やつてみた。同じだ。首をかしげながら窓口に行つた。

窓口の女性が通帳を調べ「磁気がおかしくなつてます」。すぐに修復してくれた。長いこと記帳していなかつたから、そんなこともあるんだと思いながら、もう一度ATMへ。ところが、やつぱり振り込めない。ふたたび窓口へ。

「やつぱり、できんよ」

「ご利用明細票を見せていただけますか?」

ポケットから取り出し見せると、気の毒そうに彼女が言う。

「この通帳は70才以上のお客様は送金できないようになっています」

「ん?」ピンときた。「振り込め詐欺?」「はい」

よく新聞で、振り込み詐欺を防いだ金融機関の人やコンビニのスタッフを表彰している記事を見る。

「よう、不審だとわかるもんじやのう」と思いながら、なげなく読んでいたが、「こういうことなんかあ」と納得した。まあ、そればかりでもないんだろうが、この送金の年齢制限の効力は大きいだろうと思う。

といえ少しばかり寂しくなつた。「わしも、そういう年になつたんじや」。70才を越えるというのはこういうことだ。

「おいくら送金されるんですか?」「44,000円」。金額を聞いて安心したみたいだ。

「どうすりやあ、ええん?」

「銀行印をお持ちですか?」「いや、もつとらんよ」

そんな大事なものを持ち歩くわけない。それでも、このところ物をよくなくて往生するのだから。銀行印があれば、年齢制限解除の手続きができるらしい。でも、家に取りに帰る時間はない。

「どうすりやあ、ええん?」もう一度聞く。

「現金なら大丈夫です」「仕方ないね、そうします」

またまたATMへ。彼女は申し訳なさそうに「すみません」。いやいや、このおかげで詐欺から身を守れた人もたくさんいるわけだから…。

現金44,000円を引き出して送金手続き。

しかし、現金振り込みは自分の名前を打ち込んだりと余計な手数がかかる。「めんどくさいのう」とぼやきながら、余計な『送金』を押そうとしたら、画面に送金手数料220円とある。「嘘じやろう。手数料がいるんか」。嘘じやなかつた。財布から1,000円取り出して45,000円にして送金。やつと終わつた。20分くらいかかつただろうか。あらためて振り込め詐欺をする輩にムツとした。

さて、この70才からの年齢制限を解除したものかどうか。私が送金することはめつたない。だから、今まで、こんな制限があるなんて知らなかつたわけだし。それに、詐欺に引つからないという保証もない。私に限つて騙されたりしない、とは思うが、そんな、自分だけは大丈夫だと思ってい人ほど危ないとも聞く。ここは、このままにしておこう。詐欺の手口は、ますます巧妙になつてゐるらしいし…。と、いうわけで年末らしい? 経験をさせてもらつた。

II 「よつしやあ!!」

12月の声を聞くと一年を振り返りたくなるのは私だけ? 辰年の年男だった去年は坐骨神経痛でたいへんな年だったが、今年は痛いところもなく元気に過ごせた。何事もなく無事平穩に日々を送ることができ、ほんとにありがたい一年だつた。しかし、それに甘えて、何もしない一年でもあつた。一日一日、漫然と過ごしていた。ひたすら漫然と。

ただ、秋ごろからだらうか。こんな言葉が口をついて出るようになつた。『素敵な70代になる』。

何がきっかけになつたのか定かではないのだが、突然、そわたしもそれ以上は言わない。というか、具体的に、こうするんだという豊富があるわけではなかつた。

なんで、そんなことを口走り始めたのか。心あたりがあるとすればズボンの腰回りがきつくなつたこと。腹が出て何を着ようともみつともない。このままではいけん。

5年前の経験がよみがえつた。あのころ、ちょうどコロナが始まつた2020年、悦子から金ちゃんが『ライザップ』に通つていると聞いた。あの金ちゃんが…。すぐ連絡して紹介してもらつて始めた。

半年くらゐすると、100kgあつた体重が77kgまで落ちた。ベンチプレスも60キロを挙げるようになり(今は80キロ)、腕が太くなり胸も厚くなつた。とうぜんお腹も引つ込んだ。そして腹筋が割れた。

すると、服の着こなしがよくなつた。自分で言うのもなんだが、なかなかいけてる。「よつしやあ!!」だ。もつとも、病気じやないかと心配する人もいたし、しわが増え「年をとつたのう」と言われもした。それでも、こっちの方がいい。

ところがその後、5年かけて、お決まりのリバウンド。この8月、とうとう95キロまで戻つた。あの時、新調したズボンがパンパンになつた。かつこ悪う。この2~3年、それこそ漫然と暮らしていただけがきた。食べたいだけ食べ、呑みたいだけ呑んで、トレーニングもさぼりがち。このままではいけん、と思つてはいた。でも、ずるずると…。

それが9月、突然スイッチが入つた。家では悦子と一緒に米も麵もパンもやめた(たまに食べる)。呑んで食べて、コントロールどころじやなくなる恐れだ。

しかし、私の目標は『素敵な70代』だ。スタイルがよければいいつてものじゃない。『素敵な70代』にコミュニケーション力は欠かせない。酒にも強くなくてはいけない。

今年の私に忘年会をことわるという選択肢はない。忘年会をこなした上で目標を達成してこそ『素敵な70代』だ。

来年は、腹筋が割れ、酒に強く、ATMの前で立ちつくすことのない『素敵な70代』になつてみせる。



目標せ  
ゴルゴ13!!

